

昭和56年度受入実績データ集

(研修第一課一班所掌分)

8111-〔1〕-001~212
-〔2〕-001~059
-〔3〕-001~002

昭和57年10月

国際協力事業団
研修事業部
J I C A

研 一
J R
82-2

国際協力事業団	
受入 57.11.12 月日 84.8.29	000
登録No. 14417	36 TAF



はじめに

研修員受入事業は、各国から高い評価を得て年々増大の一途をたどり、昭和56年度は総数4,223名（新規受入（未日）3,605名、前年度よりの継続受入618名）の受入を達成いたしました。

このうち集団コースへの参加者は、2,564名（60%、含む日墨）、個別参加者は、1,659名（40%）でありましたが、今後の受入事業をより一層効果的に推進するためには、研修実施記録を整備し、継続的に研修事業の評価活動に資してゆく必要があります。

本資料は、昭和56年度受入実績のうち、農林水産分野を中心に個別研修について、カード制を導入して各件ごとにコード番号を付し、国別・分野別に実施記録を集大成したものであります。関係各位の参考となれば幸いです。

なお、整理方法につきましては、今後も研究して参りたいと存じますので、御指導をお願い申し上げます。

昭和57年9月

研修事業部長 山村 寛

昭和56年度研修第一課一班

課長	八島 継男 (S.55.7 ~S.56.1)	石崎 光夫 (S.57.2~)
課長代理	柿崎 良夫 (一班S.55.10~)	笠井 利元 (二班知高総研修員 (S.56.4~))
	立石 俊一 (S.54.4~)	齋藤 宏 (S.56.4~S.57.4)
	岩崎 薫 (")	甲斐 寿治 (")
	外川 徹 (S.55.4~56.10)	馬渡 善治 (")
	柳沢 香枝 (S.55.4~)	河野 愛一郎 (" ~S.57.4)
	桜井 英充 (S.55.9~56.11)	稲葉 誠 (S.56.11~)
	上條 三津代 (S.56.4~)	山田 保 (S.56.11~)

目

次

	ページ
本書使用上の注意	1 ~ 4
昭和56年度個別国(籍)別索引	5 ~ 32
総表(5~7) アジア地区(8~21)	
オセアニア地区(22) 中近東・ヨーロッパ(23)	
アフリカ地区(24~26) 中南米地区(27~32)	
国際機関	33 ~ 34
昭和56年度個別研修分野別索引	35 ~ 54
総表(35~36) [農]業 (37~41)	
[園]芸(42) [畜]産 (43~44)	
[灌]溉排水・[養]蚕(45~46)	
[林]業(47~48) [水]産 (49~52)	
[特]殊・[警]察・[消]防 (53~54)	
昭和56年度個別研修地区別索引	55 ~ 74
(含) 主要研修・見学機関	
北海道支部管内(55) 東北支部管内(56)	
筑波農業研修センター(57) 筑波センター管内(58~59)	
本部管内(60~65) 八王子センター管内(66)	
神奈川水産研修センター・名古屋センター管内(67~68)	
大阪センター管内(69) 兵庫センター・中国支部管内(70~71)	
四国支部・九州支部管内(71~73)	
沖縄支部管内(74)	
昭和56年度個別研修先別索引	75 ~ 80
農林水産省(技術会議)(75~78)	
国公立大学(79) 私立大学(80)	
昭和56年度個別研修待遇別索引[高級]	81 ~ 82
昭和56年度個別日本語研修実施状況索引	83 ~ 84
昭和56年度個別受入カード	8111-[3]-001~002
	8111-[2]-001~059
	8111-[1]-001~212
昭和56年度(特設)コース割当・応募状況表	
昭和56年度継続(集団)コース名簿	
昭和56年度(集団)コース割当・応募状況表	

本書使用上の注意

個別カードについて

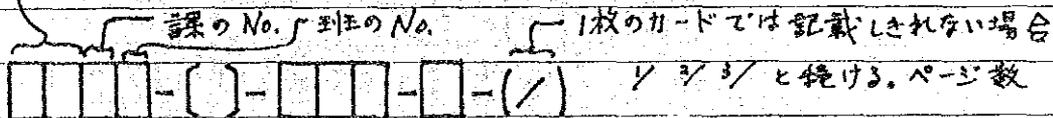
本個別カードは昭和55年度末に研修第一課一班に於いて、個別研修の実施管理、業務量の測定、記録保存等の目的で開発され、昭和56年度から研修第一課に導入されました。以下カードの内容等につき説明します。

[カード No.]

1. 目的：集団コースにコードNo.がある様に、個別研修にもそれぞれNo.を付け管理を容易にする。但し、個別案件は実施されない場合も住々にして定まるが、記録、整理の観点からNo.はそのままとておく。

2. No.のとり方：No.は1個別コース(受入期間、日程が同一のもの)1No. (但しアルファベットは除く)とし、各班の判断で付けられる様に考えてある。*原則として

当該年度(西暦): 昭和56年度は総て81とする。



当該年度に、その個別研修が来日以來、何年度かを表わす。	管理課から当該年度に実施あるいは検討するよう指示のある案件を入力した順にNo.を付ける。	①例えば、同一プロジェクトから2名以上同時に要請があり、かつ2件以上の案件に分れた場合 A, B, ... と区別する。 ② 同一年度と不能に分れる 8111-[]-001 ^A _B ③ 研修科目の違い 8111-[]-030 ^A _B ④ 研修期間の違い 8111-[]-034 ^A _B ⑤ 研修機関の違い 8111-[]-110 ^A _B ⑥ 同一個別コースであるが、国籍、プロジェクト等が違ふ研修員で構成される場合。(特設コースが中心) 8211-[]-[]-202
[1] ... その案件が当該年度に始まったか、検討中であることを示す。	例 8111-[]-071は翌年度検討案件となるため 8211-[]-001に番号が変わり、2151(82年度案件)として最初に入力したと考える)	
(注) 検討中の案件は何年たっても [1] のままである。		
[2] ... 前年度から研修が続いていることを示す	前年度のNo.をそのまま使用する。	前年度のアルファベットをそのまま使用する
[3] ... 前々年度	前々年度	前々年度
[4] ... 以下同じ	以下同じ	以下同じ

Ⅱ. カードNo. の利用法

(i) 本書のような各種分類別索引が容易に作成できる。

(ii) 今後オリス・コンピュータ・ワード・プロセッサを利用する際に、このNo.がそのおまけ有効に使用できる。(特に予算番号として)現在個別の予算番号は年度ごとに取りなおしているが、年度の区別もなく継続案件の場合前年度の番号との関連が何も無い。その点カードNo.を予算番号として利用すれば、ある個別コースが各年度ごとにいくら、合計いくらのかかるかが直ぐ判る。

例えば 受入期間が 81-9-10 ~ 83-9-28 の(農)植物病理は
 56年度 8111-[1]-053
 57年 8211-[2]-053
 58年 8311-[3]-053
 (となり、カードNo.の規則からこれらが同一番号であることが判る。

また、現在管理課の予算番号は本部職員が申請しなければ登録されないため、センター、支都で研修実施をして貰う場合どの研修にいくらかかったか集計が難しい。

カードNo.をセンター、支都に通知すれば全体でいくらのかかったか簡単に集計できる。

これは監理員の経費、受入謝費にまで適用可能である。

個別研修索引表について

本書ではカードNo.を使い、国(籍)別(含む国際機関)、研修分野別、地区別(主要研修見学機関表含む)、待遇別(高級研修員のみ)、日本語研修実施別の索引を作成しました。

注. 各索引表の人数あるいは人数欄は左側が受入人数、右側が不能人数である。()内数がある場合、()内が受入人数()の外側の数字が来日人数である。

例

人数					
2	1	...	2名受入	1名不能	2名来日 3名要請
(4)3	1	...	4名受入	1名不能	3名来日 5名要請
(1)0		...	1名受入	0名不能	0名来日 1名要請

[カードの記入項目] (注)下のカードは実物の約1/2である。また本カードには研修員の所属先住所等は記載しない。それら情報は受入番号を利用し、帰国研修員名簿を採せば入手できる。

- ①年号を記入 ②カードNo. ③公信・公電の外務省受信日(西暦) ④要請書の外務省受理日 ⑤研修事業部担当者名 ⑥実行予算書申請月日
- ⑦区分を○で囲み、管理課から戻ってきた予算番号を記入。(注)カードNo.が予算No.として利用されれば⑥⑦は不用となる。

昭和①年度 個別受入カード No. []

⑦		③		④		⑤		⑥	
区分(行番) []		C.P. []		国政 []		日誌 []		②	
⑧		⑨		⑩		⑪		⑬	
⑭		⑮		⑯		⑰		⑱	
⑲		要請番号を記入した書類を 入手した年月日(西暦)		⑳		㉑		㉒	
㉓		㉔		㉕		㉖		㉗	
㉘		㉙		㉚		㉛		㉜	
㉝		㉞		㉟		㊱		㊲	
㊳		㊴		㊵		㊶		㊷	
㊸		㊹		㊺		㊻		㊼	
㊽		㊾		㊿		㋀		㋁	
㋂		㋃		㋄		㋅		㋆	
㋇		㋈		㋉		㋊		㋋	
㋌		㋍		㋎		㋏		㋐	
㋑		㋒		㋓		㋔		㋕	
㋖		㋗		㋘		㋙		㋚	
㋛		㋜		㋝		㋞		㋟	
㋠		㋡		㋢		㋣		㋤	
㋥		㋦		㋧		㋨		㋩	
㋪		㋫		㋬		㋭		㋮	
㋯		㋰		㋱		㋲		㋳	
㋴		㋵		㋶		㋷		㋸	
㋹		㋺		㋻		㋼		㋽	
㋾		㋿		㊀		㊁		㊂	
㊃		㊄		㊅		㊆		㊇	
㊈		㊉		㊊		㊋		㊌	
㊍		㊎		㊏		㊑		㊒	
㊓		㊔		㊕		㊖		㊗	
㊘		㊙		㊚		㊛		㊜	
㊝		㊞		㊟		㊠		㊡	
㊢		㊣		㊤		㊥		㊦	
㊧		㊨		㊩		㊪		㊫	
㊬		㊭		㊮		㊯		㊰	
㊱		㊲		㊳		㊴		㊵	
㊶		㊷		㊸		㊹		㊺	
㊻		㊼		㊽		㊾		㊿	
㋀		㋁		㋂		㋃		㋄	
㋅		㋆		㋇		㋈		㋉	
㋊		㋋		㋌		㋍		㋎	
㋏		㋐		㋑		㋒		㋓	
㋔		㋕		㋖		㋗		㋘	
㋙		㋚		㋛		㋜		㋝	
㋞		㋟		㋠		㋡		㋢	
㋣		㋤		㋥		㋦		㋧	
㋨		㋩		㋪		㋫		㋬	
㋭		㋮		㋯		㋰		㋱	
㋲		㋳		㋴		㋵		㋶	
㋷		㋸		㋹		㋺		㋻	
㋼		㋽		㋾		㋿		㊀	
㊁		㊂		㊃		㊄		㊅	
㊆		㊇		㊈		㊉		㊊	
㊋		㊌		㊍		㊎		㊏	
㊑		㊒		㊓		㊔		㊕	
㊖		㊗		㊘		㊙		㊚	
㊛		㊜		㊝		㊞		㊟	
㊠		㊡		㊢		㊣		㊤	
㊦		㊧		㊨		㊩		㊪	
㊫		㊬		㊭		㊮		㊯	
㊱		㊲		㊳		㊴		㊵	
㊷		㊸		㊹		㊺		㊻	
㊽		㊾		㊿		㋀		㋁	
㋂		㋃		㋄		㋅		㋆	
㋈		㋉		㋊		㋋		㋌	
㋍		㋎		㋏		㋐		㋑	
㋒		㋓		㋔		㋕		㋖	
㋘		㋙		㋚		㋛		㋜	
㋞		㋟		㋠		㋡		㋢	
㋤		㋥		㋦		㋧		㋨	
㋩		㋪		㋫		㋬		㋭	
㋯		㋰		㋱		㋲		㋳	
㋵		㋶		㋷		㋸		㋹	
㋻		㋼		㋽		㋾		㋿	
㊀		㊁		㊂		㊃		㊄	
㊆		㊇		㊈		㊉		㊊	
㊋		㊌		㊍		㊎		㊏	
㊑		㊒		㊓		㊔		㊕	
㊖		㊗		㊘		㊙		㊚	
㊜		㊝		㊞		㊟		㊠	
㊡		㊢		㊣		㊤		㊥	
㊦		㊧		㊨		㊩		㊪	
㊫		㊬		㊭		㊮		㊯	
㊱		㊲		㊳		㊴		㊵	
㊷		㊸		㊹		㊺		㊻	
㊽		㊾		㊿		㋀		㋁	
㋂		㋃		㋄		㋅		㋆	
㋈		㋉		㋊		㋋		㋌	
㋍		㋎		㋏		㋐		㋑	
㋒		㋓		㋔		㋕		㋖	
㋘		㋙		㋚		㋛		㋜	
㋞		㋟		㋠		㋡		㋢	
㋤		㋥		㋦		㋧		㋨	
㋩		㋪		㋫		㋬		㋭	
㋯		㋰		㋱		㋲		㋳	
㋵		㋶		㋷		㋸		㋹	
㋻		㋼		㋽		㋾		㋿	
㊀		㊁		㊂		㊃		㊄	
㊆		㊇		㊈		㊉		㊊	
㊋		㊌		㊍		㊎		㊏	
㊑		㊒		㊓		㊔		㊕	
㊖		㊗		㊘		㊙		㊚	
㊜		㊝		㊞		㊟		㊠	
㊡		㊢		㊣		㊤		㊥	
㊦		㊧		㊨		㊩		㊪	
㊫		㊬		㊭		㊮		㊯	
㊱		㊲		㊳		㊴		㊵	
㊷		㊸		㊹		㊺		㊻	
㊽		㊾		㊿		㋀		㋁	
㋂		㋃		㋄		㋅		㋆	
㋈		㋉		㋊		㋋		㋌	
㋍		㋎		㋏		㋐		㋑	
㋒		㋓		㋔		㋕		㋖	
㋘		㋙		㋚		㋛		㋜	
㋞		㋟		㋠		㋡		㋢	
㋤		㋥		㋦		㋧		㋨	
㋩		㋪		㋫		㋬		㋭	
㋯		㋰		㋱		㋲		㋳	
㋵		㋶		㋷		㋸		㋹	
㋻		㋼		㋽		㋾		㋿	
㊀		㊁		㊂		㊃		㊄	
㊆		㊇		㊈		㊉		㊊	
㊋		㊌		㊍		㊎		㊏	
㊑		㊒		㊓		㊔		㊕	
㊖		㊗		㊘		㊙		㊚	
㊜		㊝		㊞		㊟		㊠	
㊡		㊢		㊣		㊤		㊥	
㊦		㊧		㊨		㊩		㊪	
㊫		㊬		㊭		㊮		㊯	
㊱		㊲		㊳		㊴		㊵	
㊷		㊸		㊹		㊺		㊻	
㊽		㊾		㊿		㋀		㋁	
㋂		㋃		㋄		㋅		㋆	
㋈		㋉		㋊		㋋		㋌	
㋍		㋎		㋏		㋐		㋑	
㋒		㋓		㋔		㋕		㋖	
㋘		㋙		㋚		㋛		㋜	
㋞		㋟		㋠		㋡		㋢	
㋤		㋥		㋦		㋧		㋨	
㋩		㋪		㋫		㋬		㋭	
㋯		㋰		㋱		㋲		㋳	
㋵		㋶		㋷		㋸		㋹	
㋻		㋼		㋽		㋾		㋿	
㊀		㊁		㊂		㊃		㊄	
㊆		㊇		㊈		㊉		㊊	
㊋		㊌		㊍		㊎		㊏	
㊑		㊒		㊓		㊔		㊕	
㊖		㊗		㊘		㊙		㊚	
㊜		㊝		㊞		㊟		㊠	
㊡		㊢		㊣		㊤		㊥	
㊦		㊧		㊨		㊩		㊪	
㊫		㊬		㊭		㊮		㊯	
㊱		㊲		㊳		㊴		㊵	
㊷		㊸		㊹		㊺		㊻	
㊽		㊾		㊿		㋀		㋁	
㋂		㋃		㋄		㋅		㋆	
㋈		㋉		㋊		㋋		㋌	
㋍		㋎		㋏		㋐		㋑	
㋒		㋓		㋔		㋕		㋖	
㋘		㋙		㋚		㋛		㋜	
㋞		㋟		㋠		㋡		㋢	
㋤		㋥		㋦		㋧		㋨	
㋩		㋪		㋫		㋬		㋭	
㋯		㋰		㋱		㋲		㋳	
㋵		㋶		㋷		㋸		㋹	
㋻		㋼		㋽		㋾		㋿	
㊀		㊁		㊂		㊃		㊄	
㊆		㊇		㊈		㊉		㊊	
㊋		㊌		㊍		㊎		㊏	
㊑		㊒		㊓		㊔		㊕	
㊖		㊗		㊘		㊙		㊚	
㊜		㊝		㊞		㊟		㊠	
㊡		㊢		㊣		㊤		㊥	
㊦		㊧		㊨		㊩		㊪	
㊫		㊬		㊭		㊮		㊯	
㊱		㊲		㊳		㊴		㊵	
㊷		㊸		㊹		㊺		㊻	
㊽		㊾		㊿		㋀		㋁	
㋂		㋃		㋄		㋅		㋆	
㋈		㋉		㋊		㋋		㋌	
㋍		㋎		㋏		㋐		㋑	
㋒		㋓		㋔		㋕		㋖	

① 研修分野、研修一課一班では、〔農〕〔園〕〔畜〕〔灌〕〔蚕〕〔林〕〔水〕〔特〕〔警〕〔消〕に分類している。但し、高級研修員の場合、分野によらず〔高〕とする。同様、カウンターパート(SF)または単発枠で集団コースへ応募する場合は、〔集〕、特設コースは〔特設〕と記入し、分野索引ではそれぞれ本来の分野へ記載。

② 研修科目。③ プロジェクト名(SF)または国際機関名。④ プロジェクト実施担当課名。⑤ プロジェクト実施担当者名

⑥ ②の担当者に公電または要請書(写)を付した月日。⑦ 申請番号、氏名等判った時点で記入。但し、氏名、生年月日は来日後最終チェックを行う。⑧ 待遇及びその決裁起案日、一般研修員の場合は、不用。⑨ 受入通知起案日、不能回答の場合⑩に不能と受入の場合⑩に期間を同時に記入。⑪ 受入の場合番号が決まるから、不能回答の場合⑩と同時に、また理由を⑩に記入。⑫ 来日は50印、来日しない場合(不能含む)×印を付す。⑬ 受入を検討し貰う旨。⑭ ⑬で断られた場合、その理由。⑮ 研修(見学)先名、便宜供与依頼先(センタ・支部)。

⑯ 研修(見学)、便宜供与依頼期間。⑰ 研修依頼状を起案した月日。⑱ 見学または便宜供与依頼状を起案した月日。⑲ 契約書をかかわす必要が生じた場合、当該決裁文書を起案した月日。⑳ 研修に係わる覚書をかかわす場合、その起案月日。(漸次はくす方針)㉑ 民間の研修先に礼状を発信する場合、その起案日。

㉒ 研修先担当者名。㉓ ⑲の電話番号。㉔ 受入期間、㉕ 参照。㉖ 来日。㉗ 来日中止または来日が着しく遅れた場合その理由。㉘ 早期帰国、延長にはなった場合、正式に認められた受入最終日。㉙ その理由。㉚ 早期帰国または延長決裁の起案日。㉛ 延長の場合でビザ延長する必要のある場合は、ビザ延長に必要な書類の起案日。㉜ 帰国日。㉝ 傷病、事故があった場合の状況説明。㉞ 基準予算額。㉟ 実行予算額。㊱ 最終支出額。㊲ 実行予算との差額。㊳ 研修旅行同行依頼起案日。㊴ 研修旅行同行者名、研修旅行先、期間。㊵ 支出先。㊶ 支出決定額。㊷ 経費、資材費、謝金、交通費、研修旅費、会議費等に分ける欄。

<p>集団コース割当応募状況表について</p> <p>本状況表は、昭和56年4月に研修第一課一班に於いて、集団コースの5工作成から割当、応募、回答、来日までを一元的に管理する目的で開発され、現在研修事業部全体で利用されています。</p> <p>本書巻末に一課一班担当の集団コース状況表を収録しました。(注) 継続コースは、名簿だけ、また〔特設〕コースも含めた。</p>
--

昭和56年度 個別研修員受入実績総表〔国籍別〕

注()国際機関 [] G-Gベース

国(籍)名	経管人数	要請人数	受入人数	不能回答人数	翌年度繰上人数	未日中止人数
アジア地域						
バングラデシュ	2(0)	19(0)	12(0)	7(0)	0(0)	0(0)
ブータン	0(0)	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)
ビルマ	3(0)	16 ⁽¹⁾ _[2]	16 ⁽¹⁾ _[2]	0 ⁽⁰⁾ _[0]	0 ⁽⁰⁾ _[0]	0 ⁽⁰⁾ _[0]
ブルネイ	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
中国	0(0)	35(4)	29(0)	6(4)	0(0)	0(0)
インドネシア	17(2)	104(5)	90(4)	6(1)	8(0)	3(0)
インド	0(0)	3(2)	1(1)	2(1)	0(0)	0(0)
韓国	6(0)	24 ⁽⁶⁾ _[7]	20 ⁽⁶⁾ _[5]	2 ⁽⁰⁾ _[0]	2 ⁽⁰⁾ _[2]	0 ⁽⁰⁾ _[0]
マレーシア	1(0)	12(6)	10(6)	2(0)	0(0)	0(0)
ネパール	0(0)	8(0)	8(0)	0(0)	0(0)	0(0)
フィリピン	3(1)	32(12)	27(12)	3(0)	2(0)	0(0)
パキスタン	2(0)	5(0)	2(0)	3(0)	0(0)	0(0)
ラオス	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
シンガポール	2(0)	15 ⁽¹⁾ _[1]	15 ⁽¹⁾ _[1]	0 ⁽⁰⁾ _[0]	0 ⁽⁰⁾ _[0]	0 ⁽⁰⁾ _[0]
スリランカ	0(0)	11 ⁽⁰⁾ _[5]	9 ⁽⁰⁾ _[5]	2 ⁽⁰⁾ _[0]	0 ⁽⁰⁾ _[0]	1 ⁽⁰⁾ _[1]
タイ	9(0)	72 ⁽²⁾ _[1]	68 ⁽¹⁸⁾ _[1]	3 ⁽³⁾ _[0]	1 ⁽⁰⁾ _[0]	1 ⁽⁰⁾ _[0]
台湾	0(0)	3(3)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)
香港	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)
ヴェトナム	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
地域計	48(4)	365 ⁽⁶¹⁾ _[26]	315 ⁽³²⁾ _[24]	37 ⁽⁹⁾ _[0]	13 ⁽⁰⁾ _[2]	5 ⁽⁰⁾ _[1]
オセアニア地域 (南太平洋)						
フィジー	0(0)	6(0)	5(0)	1(0)	0(0)	0(0)
ミクロネシア	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
ソロモン	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)
バプアニューギニア	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
地域計	2(0)	9(0)	7(0)	2(0)	0(0)	0(0)
小計	50(4)	374 ⁽⁶¹⁾ _[26]	322 ⁽³²⁾ _[24]	39 ⁽⁹⁾ _[0]	13 ⁽⁰⁾ _[2]	5 ⁽⁰⁾ _[1]

昭和56年度 個別研修員受入実績総表〔国籍別〕

注() 国際機関 [] G-Gベース

国(籍)名	総経人数	要請人数	受入人数	不能回答人数	翌年度検討人数	来日中止人数
中近東・アフリカ地域						
カタール	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
レバノン	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)
セイシェル	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)
マダガスカル	0(0)	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)
エジプト	0(0)	5(0)	5(0)	0(0)	0(0)	1(0)
スーダン	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
ソマリア	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
チュニジア	0(0)	12(0)	10(0)	2(0)	0(0)	1(0)
エチオピア	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
ケニア	3(0)	4(0)	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)
タンザニア	2(0)	5(0)	5(0)	0(0)	0(0)	2(0)
ザンビア	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
セネガル	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
リベリア	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
ガーナ	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
カメルーン	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)
ガボン	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
中央アフリカ	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)
コンゴ	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
地域計	12(0)	41(1)	35(0)	5(1)	1(0)	4(0)
ヨーロッパ地域						
ユーゴスラヴィア	0(0)	2(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)
小計	12(0)	43(1)	36(0)	5(1)	2(0)	4(0)

昭和56年度 個別研修員受入実績総表〔国(籍)別〕

注() 国際機関 〔 〕 日墨研修 [] G-Gパス

国(籍)名	継続人数	要請人数	受入人数 (回答)	不能回答人数	翌年度検討 人数	来日中止人数
中南米地域						
メキシコ	23 ⁽⁰⁾ 〔23〕	35 ⁽⁰⁾ 〔29〕	29 ⁽⁰⁾ 〔26〕	3 ⁽⁰⁾ 〔3〕	(注) 3 ⁽⁰⁾ 〔0〕	6 ⁽⁰⁾ 〔6〕
ホンデュラス	1 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
コスタリカ	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
ドミニカ	0 (0)	5 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
ヴェネズエラ	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
エクアドル	0 (0)	13 (0)	10 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)
ペルー	4 (0)	11 (0)	9 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
ブラジル	7 (0)	30 (0)	25 (0)	2 (0)	3 (0)	2 (0)
ボリビア	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
パラグアイ	4 (0)	11 (0)	11 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
ウルグアイ	3 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
アルゼンチン	0 (0)	7 (0)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
4 国	0 (0)	4 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
地域計	43 ⁽⁰⁾ 〔23〕	124 ⁽⁰⁾ 〔29〕	104 ⁽⁰⁾ 〔26〕	11 ⁽⁰⁾ 〔3〕	9 ⁽⁰⁾ 〔0〕	13 ⁽⁰⁾ 〔6〕
合計	105 ⁽⁴⁾ 〔23〕	541 ⁽⁶²⁾ 〔29〕	462 ⁽⁵²⁾ 〔26〕	55 ⁽¹⁰⁾ 〔3〕	24 ⁽⁰⁾ 〔0〕	22 ⁽⁰⁾ 〔6〕
	[0]	[26]	[24]	[0]	[2]	[1]
参考 研修事業部全体	406 ⁽¹⁸⁾ 〔90〕	1,820 ⁽⁻⁾ 〔14〕	1,501 ⁽¹⁹²⁾ 〔106〕	153 ⁽⁻⁾ 〔8〕	358 ⁽⁻⁾ 〔0〕	68 ⁽⁻⁾ 〔16〕
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		除く国際機関		除く国際機関	同左	同左

(注) 昭和56年度 研修第一課一班担当個別研修員
来日人数は 受入人数 - 翌年度検討人数 - 来日中止人数
に存る筈であるが、メキシコの翌年度検討案件(8111-03-071)
が82年3月31日に来日して来たため

$$\text{来日人数} = 462 - 24 - 22 + 1 = 417 \text{名 と存る。}$$

但し、これは航空券手配ミスにより生じたことであり、
8111-03-071を翌年度案件として取扱うことに変更はない。

昭和56年度 個別 国 別 索引 ^{バングラデシ} _{ブータン}

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分 (特選)	プロジェクト名等	受入期間
8111-01-044	(園)柑橘生産	河野	1	%	園芸研究	81-3-26 ~81-9-30
[2]-057	(集)野菜生産コース	山田	1	%	-do-	81-3-19 ~81-11-23
8111-01-001-A	(警)警察業務	-do-	4	単		81-8-30 ~81-9-29
01-001-B	-do-	-do-	4	単		不能
01-003	(高) ^{バングラ} 農業事情視察	上候	1	% (高)	農業普及(CERPI)	81-6-29 ~81-7-12
01-090	(産)農業普及	青藤	1	%	農業普及(CERPI)	81-5-7 ~81-7-31
01-099	(林)林業研究	柳澤	1	単		81-8-20 ~81-11-19
01-139	(園)視察(柑橘類)	斎藤	1	% (準)	園芸研究	81-10-4 ~81-10-27
01-157-A	(園)柑橘病理	山田	1	%	-do-	82-1-17 ~82-12-15
01-157-B	-do-	-do-	1	%	-do-	不能(材料バ)
01-195	(園)果樹生産(土壤)	-do-	1	%	-do-	82-2-4 ~82-12-15
01-176 B	(時設)一般農業	立石	1	単		不能
01-192 A	(時設)林業開発(土)	柳澤	1	単		81-8-20 ~81-9-8
01-196 A	(時設)警察通信(土)	立石 河野	1	単(準)		81-11-19 ~81-12-10
01-196 B	-do-	-do-	1	単(準)		不能

		計	国際機関	単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	2人	0人	0人	2人	0人	0人	0人
"	要請 "	19人	0	13	6	0	1	3
"	受入 "	12	0	7	5	0	1	2
"	受入不能 "	7	0	6	1	0	0	1
昭和57年度	継続 "	2	0	0	2	0	0	0

ブータン

カードNo.	研修科目	担当	人数 受入 不能	区分 (特選)	プロジェクト名等	受入期間
8111-01-176-B	(時設)一般農業	立石	1	単		81-5-14 ~81-10-19
01-212	(高) ^{バンラ} 農業事情視察	笠井	2	単(高)		82-3-14 ~82-3-27

		計	国際機関	単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続 人数	0	0	0	0	0	0	0
"	要請 "	3	0	3	0	0	2	0
"	受入 "	3	0	3	0	0	2	0
昭和57年度	継続 "	0	0	0	0	0	0	0

ビルマ

昭和56年度 個別 国 別 索引

ビルマ

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間		
8111-[2]-011	[畜]養鶏・養豚	岩崎	2	C/P	畜産開発	81-1-8 ~81-11-7		
[2]-056C	[集]灌漑排水工		1	%	ナラシ灌漑	81-3-19 ~81-11-23		
8111-[1]-005	[農]養蜂	甲斐	2	単		81-6-18 ~81-12-25		
[1]-027	[灌]ダム計画	-do-	1	C/P	カンダム開削	81-7-2 ~81-9-5		
[1]-069	[林]植物移植	河野	2	G-G		81-9-28 ~81-10-11		
[1]-087	[農]米糠油抽出	-do-	1	国	A D P	81-9-28 ~81-11-19		
[1]-091	[集]養鶏	三条	1	C/P	畜産開発	81-5-7 ~81-9-27		
[1]-100B	[林]機械集材(国)	岩崎	3	%	アライシ林業	81-8-6 ~81-11-5		
[1]-116	[林]林業一般(国)	河野	2	% (準)	アライシ林業	81-10-20 ~81-11-18		
[1]-156A	[畜]養鶏・養豚	岩崎	1	%	畜産開発	82-1-15 ~82-7-14		
[1]-156B	[畜]養豚	-do-	1	%	-do-	82-1-15 ~82-7-14		
[1]-192C	[特設]林業開発工+	柳澤	1	単		81-8-20 ~81-9-8		
[1]-196C	[特設]警備通信工+	立石河野	1	単(準)		81-11-19 ~81-12-10		
		計	累計	単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	3人	0人	0人	3人	0人	0人	0人
"	要請 "	16	1	4	9	2	0	1
"	受入 "	16	1	4	9	2	0	1
昭和57年度	継続 "	2	0	0	2	0	0	0

ブルネイ

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間		
8111-[2]-020	[畜]養鶏	柳澤	2	単		81-2-20 ~82-2-4		
		計	累計	単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	2人	0人	2人	0人	0人	0人	0人
"	要請 "	0人	0	0	0	0	0	0
昭和57年度	継続 "	0	0	0	0	0	0	0

昭和56年度 個別 国別 索引 中国

カード No.	研修科目	担当	人数 入 能	区分 (待遇)	プロジェクト名等	受入期間			
8111-01-015	(林) 木材加工	柳澤	4	国	FAO	不能(受入不能)			
01-049	(畜) 家畜衛生	岩崎	1	単		81-9-17 ~82-3-16			
01-050	(園) リンゴ栽培	柳澤	2	単		81-9-29 ~81-12-10			
01-064	(農) 農業抗生物質	上條	1	単		81-11-12 ~82-5-11			
01-065	(農) 農業機械	柿崎	2	単		不能(受入不能)			
01-073	(園) 野菜貯蔵試験	櫻井	3	単		81-7-15 ~81-10-10			
01-075	(水) 魚・北・養殖	-do-	3	単		81-6-19 ~81-9-4			
01-084A	(農) 水稻栽培(北)	柳澤	1	単		82-1-10 ~82-12-20			
01-084B	(農) 水稻栽培(東北)	柳澤	1	単		82-3-10 ~82-3-9			
01-085A	(畜) 家畜繁殖(北)	岩崎	1	単		81-9-17 ~82-9-16			
01-085B	(畜) -do-(MAF)	-do-	1	単		81-9-3 ~82-9-2			
01-086	(畜) 家畜衛生	-do-	1	単		82-2-27 ~83-1-27			
01-113-A	(水) 水産保蔵	櫻井・柳沢	1	単		81-11-10 ~82-5-6			
01-113-B	(水) 水産加工	-do-	1	単		81-11-10 ~82-5-20			
01-113-C	(水) 小割式養殖(東北)	-do-	2	単		81-11-25 ~82-6-18			
01-198A	(海) EPR地区予備設計	-do-	6	1/2	三江平源	82-2-17 ~82-3-31			
01-198B	(海) EPR地区予備設計	-do-	4(1/2)	1/2	-do-	82-2-17 ~82-3-31			
※		計		国際機関	単発	c/p	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	0人	0人	0	0	0	0	0	0
ノ	要請人数	35人	4人	21人	10人	0	0	0	0
ノ	受入人数	29人	0人	19人	10人	0	0	0	0
ノ	来日中止人数	0人	0人	0人	0人	0	0	0	0
ノ	受入不能人数	6人	4人	2人	0人	0	0	0	0
ノ	翌年度検討人数	0人	0人	0人	0人	0	0	0	0
昭和57年度	継続人数	10人	0人	10人	0人	0	0	0	0

昭和56年度 個別 国(籍)別 索引 インドネシア

カードNo.	研修科目	担当者	人数 参加不能	区分 (待遇)	プロジェクト名	受入期間
8111-02-016	[畜]動物用薬品検査	柳澤	2	国	FAO	81-1-15 ~81-7-14
-02-022	[水]水産冷凍	桧井	1	%	派	81-2-23 ~81-6-8
-02-036A	[林]機械集材 <small>林産物</small>	岩崎	2	%	シブ山岳林	81-3-19 ~81-6-18
02-036B	[林]視察(双機技術)	-do-	2	% (津)	-do- <small>(計)1%</small>	81-3-26 ~81-4-15
02-038	[農]農産加工	外川	1	%	ポジョル農大	81-3-20 ~81-6-20
02-048	[畜]養蚕	-do-	1	%	養蚕開発	81-3-30 ~81-7-4
02-049	[農]リモートセンシング	-do-	2	% (津)	リモートセンシング	81-3-29 ~81-4-19
02-050A	[高]ASEAN(人)	立石	3 <small>(2名中止)</small>	単(高)	ASEANのASEAN国 とASEAN国	81-3-29 ~81-4-4
02-058A	[集]稲作機械化		1	%	中堅技術者	81-3-19 ~81-11-23
02-058B	[集]稲作コース		1	%	-do-	81-3-19 ~81-11-23
8111-01-011	[農]初処理精米加工	上條	2	単		81-7-16 ~81-8-15
01-018	[園]果樹栽培	柳澤	1	国	FAO	81-4-5 ~81-5-2
01-026A	[農]視察(試験場)	斎藤(抜粋)	1	%	作物保護普及	不能
01-026B	-do-	斎藤	3	%	-do-	81-9-7 ~81-10-4
01-028	[水]漁船エンジン	桧井	1	%	派	81-6-11 ~82-6-5
01-030-A	[農]稲栽培	外川 <small>補</small>	1	%	農業研究	81-6-5 ~81-12-4
01-030-B	[農]大豆音種	-do-	1	%	-do-	81-6-5 ~81-12-4
01-030-C	[農]大豆害虫	-do-	1	%	-do-	81-6-5 ~81-12-4
01-035A	[畜]養蚕合同	-do-	5	%	養蚕開発	81-5-5 ~81-11-8
01-041	[高]ASEAN視察	桧井	1	% (高)	南アジア地域農開	81-4-11 ~81-4-18
01-051-A	[警]交通警察	坂河野	8	単 <small>(3名中止)</small>		81-6-12 ~81-7-15
01-051-B	[警]交通管制	-do-	3	単		81-6-12 ~81-7-27
01-062	[農]リモートセンシング	桧崎	2	%	リモートセンシング	不能
01-068	[集]農業機械整備	立石	1	%	南アジア地域農開	8211-01-004A
01-072C	[水]漁技術(SEADEC) <small>訓練士</small>	甲斐	3 <small>(2名中止)</small>	国	SEADEC	81-6-9 ~81-7-4
01-074	[集]農業機械整備	斎藤	1	%	ランポン農開	81-6-11 ~81-12-21
01-076A	[園]柑橘改良	立石	1	%	南アジア地域農開	81-9-1 ~82-2-28
01-076B	[畜]草地改良	-do-	1	%	-do-	81-7-23 ~82-1-22
01-076C	[林]林業一般	-do-	1	%	-do-	81-8-6 ~82-2-5
01-076D	[集]農林水産統計	-do-	1	%	-do-	8211-01-004B
01-077A	[農]植物生理 <small>(トウモロコシ)</small>	山田	1	%	農業研究	82-3-17 ~82-9-14
01-077B	[農]土壌	外川 <small>斎藤</small>	1	%	-do-	81-8-3 ~82-2-2

昭和56年度 個別 国別 索引 インドネシア

カード No.	研修科目	担当者	人数 / 不能	区分 (待遇)	プロジェクト名	受入期間
8111-01-078-A	[水] 浅海養殖(貝類)	上條	1	%	浅海養殖	1981-7-30 ~1981-11-4
01-078-B	[水] -do- (一般)	-do-	1	%	-do-	1981-8-14 ~1981-11-17
01-078-C	[水] -do- (視察)	-do-	1	% (準)	-do-	1981-11-29 ~1981-12-15
01-078-D	[水] -do- (魚類)	-do-	1	%	-do-	不能(取下)
01-078-E	[水] -do- (貝類)	-do-	1	%	-do-	2年度 8211-01-005B
01-083	[畜] 細菌	岩崎	1	%	家畜衛生	1981-9-4 ~1982-3-3
01-100-A	[林] 機械掌技(合同)	-do-	2	%	シマヤマ岳林	1981-8-6 ~1981-11-5
01-101-A	[林] 造林(合同)	-do-	2	%	南スマトラ林業	1981-8-6 ~1981-11-5
01-104	[林] 林業研究	柳澤	2	単(準)		1981-8-29 ~1981-9-14
01-112-A	[林] 森林保護	河野	1	%	南スマトラ林業	1982-3-23 ~1982-6-23
01-112-B	[林] 造林	-do-	1	%	-do-	1982-3-23 ~1982-6-23
01-115	[高] ^{インドネシア} 林業事情視察	笠井	1	% (高)	スラバヤ大学	1981-8-31 ~1981-9-13
01-124	[食] 食品加工	立石	1	国	UNIDO	不能(要D)
01-125	[高] ^{インドネシア} 技術協力の行政視察	柳澤	1/4	単(高)		1981-4-2 ~1981-4-10
01-131-C	[漁] 視察(合同717)	甲斐	(2)0	% 準 禁止	ビラ漁港	81-11-5 ~81-11-23
01-146	[農] リートセンシング	立石	1	%	リートセンシング	8211-01-012
01-147	[水] 冷凍機保守修繕	斎藤	1	%	派	82-1-15 ~82-7-16
01-169	[林] 事情視察	河野	1	% (準)	南スマトラ林業	82-3-24 ~82-4-6
01-177-A	[漁] 視察(第2次合同 717 I)	山田	4	%	派	82-2-18 ~82-3-17
01-177-B	[漁] 視察(第2次合同 717 I)	-do-	1	%	コリニ農業開発	82-2-18 ~82-3-17
01-177-C	[漁] 視察(第2次合同 717 I)	-do-	2	%	ビラ漁港	82-2-18 ~82-3-17
01-178	[農] 事情視察	斎藤	1	% (準)	ラホ農園	81-11-24 ~81-12-12
01-183-A	[漁] 視察(第2次合同 717 II)	山田	3	%	灌排セブ	82-2-18 ~82-3-17
01-183-B	[漁] -do-	立石	1	%	-do-	不能
01-187-A	[農] 稲栽培	河野	1	%	中堅技術者	82-3-4 ~82-12-14
01-187-B	[農] 稲作機械化	-do-	1	%	-do-	82-3-4 ~82-12-14
01-189-A	[農] 視察(農林業研究)	甲斐	2	%	スラバヤ大学	82-1-7 ~82-2-6
01-189-B	[農] -do-	-do-	3	%	スラバヤ大学	82-1-7 ~82-2-6
01-190	[林] 山岳林収得技術	河野	2	%	シマヤマ岳林	82-3-18 ~82-6-17
01-191	[農] リートセンシング(高)	立石	2	%	リートセンシング	82-1-10 ~82-3-9

昭和56年度 個別 国別 索引 インドネシア 3.
インドネシア 3.

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分 (普通)	プロジェクト名	受入期間		
01-192-E	(特設)林業開発計	柳澤	2	単		81-8-20 ~81-9-8		
01-194	(農)農機具製造	山田	1	%	72和農商	次年度 8211-01-016		
01-196-D	(特設)警察通信計	立石河野	1	単(洋)		81-11-19 ~81-12-10		
01-201	(畜)視察(家畜衛生)	岩崎	1	% (洋)	家畜衛生	82-3-10 ~82-3-30		
01-202-A	(農)7-クニョブ(菓生)	河野	1	%	ボゴール農大	次年度 8211-01-017A		
01-202-B	(特)環境汚染管理	-do-	2	%	-do-	8211-01-017B		
01-202-C	(集)水産食品加工	甲斐	1	%	-do-	82-1-14 ~82-6-15		
01-204	(農)視察(農業技術)	甲斐	2	% (洋)	中堅技術者	82-3-14 ~82-4-11		
01-205-A	(特設)ASEAN食品加工	立石	2	単		81-10-29 ~81-12-15		
		計		単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	17人	2人	2人	13人	0人	2人	4人
"	要請 "	104人	5	25	74	0	3	15人
"	受入 "	90	4	25	61	0	3	15
"	来日中止 "	3	0	1	2	0	0	0
"	受入不能 "	6	1	0	5	0	0	0
"	翌年度検討 "	8	0	0	8	0	0	0
昭和57年度	継続 "	13	0	0	13	0	0	3

インド

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分 (普通)	プロジェクト名	受入期間		
8111-01-019	(林)林産加工	柳澤	1	国	FAO	81-5-22 ~81-8-18		
01-020	(水)水産技術	-do-	1	国	-do-	不能(併記)		
01-196-0	(特設)警察通信計	立石河野	1	単(洋)		不能		
		計		単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	0人	0人	0人	0人	0人	0	0
"	要請 "	3人	2人	1	0	0	0	1
"	受入 "	1	1	0	0	0	0	0
"	受入不能 "	2	1	1	0	0	0	1
昭和57年度	継続 "	0	0	0	0	0	0	0

昭和56年度 個別 国別 索引 韓国

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分 (待遇)	研修外名称	受入期間		
8111-(2)-002A	(農) 栄養生理(特類)	外川	1	%	農業研究	1980-5-8 ~1981-4-30		
-B	(農) 作物栄養生理	-do-	1	%	-do-	1980-6-15 ~1981-6-14		
-B-008-A	(農) 麦類生理	-do-	1	%	-do-	1980-11-24 ~1981-11-23		
-B-008-B	(園) 施設野菜	-do- 駒	1	%	-do-	1980-12-1 ~1981-11-30		
-B-047	(農) 水田土壌	-do- do-	1	%	-do-	1981-3-26 ~1982-3-25		
-B-052	(農) 稲作	河野	1	単(54研修)	* (博) 稲栽培から 切替	1981-3-19 ~1981-11-23		
(1)-017	(林) 林業機械化	柳澤	2	国	FAO	81-4-2 ~81-6-25		
(1)-036	(水) 育苗生産(林産)	馬渡	1	単		1981-6-19 ~1981-7-12		
(1)-063	(特) 研究開発制度	柿崎	2	単		不能		
(1)-070	(林) 採種園造成管理	岩崎	1	単		1981-8-14 ~1981-11-13		
(1)-080	(林) 山林経営	立石	4	G-G		1981-9-30 ~1981-11-19		
(1)-081	(農) 力加類 栽培生産	外川	1	%	農業研究	1981-7-9 ~1982-7-8		
(1)-082	(農) 水稲品種育成	-do-	1	%	-do-	1981-7-16 ~1982-7-15		
* (1)-098-B	(農) 農林用 肥料増進	柿崎	2(合計3名 うち1名受入)	国	ASPAC/FFTC	1981-10-5 ~1981-10-10		
(1)-105	(警) 警察大学	立石	2	単		1981-10-1 ~1982-3-31		
(1)-127-A	(農) 視察(研究協力)	外川	1	% (博)	農業研究	81-9-16 ~81-10-3		
(1)-127-B	(農) 水稲機械移植	-do-	1	%	-do-	81-10-6 ~82-10-5		
(1)-127-C	(園) 施設園芸	-do-	1	%	-do-	81-9-30 ~82-9-29		
(1)-136	(林) 視察(林業試験)	岩崎	2	国	FAO	81-11-23 ~81-12-8		
(1)-203-A	(農) 農業機械(研修)		1	G-G		2年度至19 8211-11-018A		
(1)-203-B	(農) -do- (11-72機械)		1	G-G		-do- 8211-11-018B		
(1)-203-C	(林) 樹木生態	立石	1	G-G		82-2-4 ~82-6-25		
*		計	国 際 関	単 発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	6	0	1	5	0	0	0
"	要請人数	24	6	6	5	7	0	1
"	受入人数	20	6	4	5	5	0	1
"	来日中止人数	0	0	0	0	0	0	0
"	受入不能人数	2	0	2	0	0	0	0
"	翌年度検討人数	2	0	0	0	2	0	0
昭和57年度	継続人数	5	0	0	4	1	0	0

昭和56年度 個別 国別 索引 マレーシア
ネパール

マレーシア

カードNo.	研修科目	担当者	人数	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間		
8111-〔2〕-052D	(高)ASEAN人訓	立石	1	単(高)	他のASEAN国から 受入マレーシア	81-3-29 ~81-4-4		
8111-〔1〕-072D	(水)水産技術(SEADEC) 訓練三	甲斐	5	国	SEAFDEC	81-6-9 ~81-7-4		
〔1〕-098C	(農)農外産用外農研修	柿崎	1	国	ASPAC/FFTC	81-10-5 ~81-10-10		
〔1〕-177E	(灌)視察(第2次合同) タイE	山田	1	%	水灌用訓練センター	82-2-18 ~82-3-17		
〔1〕-192G	(特設)林業開発セミナー	柳澤	1	単		81-8-20 ~81-9-8		
〔1〕-192H	-do-	-do-	1	単		不能		
〔1〕-196P	(特設)警察面談セミナー	立石・河野	1	単(準)		不能(地位値)		
〔1〕-205-B	(特設)ASEAN食品加工	立石	2	単		81-10-29 ~81-12-15		
		計	国 際 単 元	単 元 %	G-G	高級	準高	
昭和56年度	継続人数	1人	0人	1人	0人	0人	1人	0人
"	要請	12	6	5	1	0	0	1
"	受入	10	6	3	1	0	0	0
"	受入不能	2	0	2	0	0	0	1
昭和57年度	継続	0	0	0	0	0	0	0

ネパール

カードNo.	研修科目	担当者	人数	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間		
8111-〔1〕-031	(灌)視察(地域別)	斎藤	1	% (準)	ジャナプール灌漑	81-7-20 ~81-8-8		
〔1〕-106	(園)果樹園経営	外川誠	1	%	派(近藤)	81-9-3 ~82-7-2		
〔1〕-149	(特)視聴覚機器	斎藤	1	%	ジャナプール農園	82-1-15 ~82-3-29		
〔1〕-181	(環)農業普及	-do-	1	%	-do-	82-3-4 ~82-5-27		
〔1〕-176C	(特設)-般農業	立石	1	単		81-5-19 ~81-10-17		
〔1〕-192-I	(特設)林業開発セミナー	柳澤	1	単		81-8-26 ~81-9-8		
〔1〕-193-B	(特設)協力隊結成セミナー	斎藤	1	%	JOCY	81-11-2 ~81-11-18		
〔1〕-196-E	(特設)警察面談セミナー	立石・河野	1	単(準)		81-11-19 ~81-12-10		
		計	国 際 単 元	単 元 %	G-G	高級	準高	
昭和56年度	継続人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
"	要請	8	0	3	5	0	0	2
"	受入	8	0	3	5	0	0	2
昭和57年度	継続	2	0	0	2	0	0	0

昭和56年度 個別 国別 索引 フリピン 1

カードNo	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分(待遇)	アロジツト名等	受入期間
8111-(2)-018	(水)工ビ生態	上條	1	国	SEAFDEC	81-1-29 ~81-5-13
-02-045	(林)造林	河野	1	%	1979年の森林	81-3-26 ~81-6-3
-02-050C	(高)ASEAN人遣り	立石	1	単(高)	同他のASEAN国 が受入しない	81-3-29 ~81-4-4
8111-01-023	(水)工ビ種苗生産	上條	1	国	SEAFDEC	81-4-6 ~81-6-30
01-048	(農)アロカス栽培	(水)甲斐	1	国	SEAMEO	81-9-1 ~82-2-28
01-072-B	(水)水産技術(SEAFDEC 創設生)	甲斐	6 <small>(91.7.27 10.27)</small>	国	SEAFDEC	81-6-9 ~81-7-4
01-098-D	(農)農機用鉛農機修理	柿崎	2 <small>(81.7.20 27.20)</small>	国	ASPAC/FFTC	81-10-5 ~81-10-10
01-120A	(水)実験機器保守修理	甲斐	1	国	SEAFDEC	81-9-24 81-12-14
01-120B	(水)魚類解剖学	-do-	1	国	-do-	81-9-14 ~82-4-5
01-122	(消)視察(消防行政)	外川	1	単		不能
01-140	(林)視察(林業一般)	甲斐	2	% <small>(単)</small>	1979年の森林	81-11-3 ~81-11-24
01-141A	(林)造林	-do-	1	%	-do-	81-10-22 ~81-12-21
01-141B	(林)治山	-do-	1	%	-do-	81-10-22 ~81-12-21
01-173	(水)漁業教育	柿崎	1	単		不能
01-174-D	(海)視察(第2次合同 9.17.1)		1	%	派(中川)	82-2-18 ~82-3-17
01-180	(農)視察(九州訪問)		1	%	アロカス開発	25年 8211-01-013
01-182A	(海)視察(第2次合同 9.17.1)	山田	1	%	7ビニ地区農開	82-2-8 ~82-3-17
01-182B	(海)視察		1	%	-do-	22年度 8211-01-014
01-192 N	(特設)林業開発出汁	柳澤	2	単		81-8-20 ~81-9-8
01-196 H	(特設)警備通商出汁	立石、河野	1	単(単)		81-11-19 ~81-12-10
01-196 I	-do-	-do-	1	単		不能
01-205 C	(特設)ASEAN食品加工	立石	2	単		81-10-29 ~81-12-15
01-206A	(農)かんがい排水	山田	1	%	カリヤニ農開	82-2-18 ~82-11-30
01-206B	(農)箱栽培	河野	1	%	-do-	82-3-4 ~82-12-14
01-206C	(農)稲作機械化	-do-	1	%	-do-	82-3-4 ~82-12-14
01-208	(特)種工場電設設備保守	岩崎	1	%	派	82-3-18 ~82-6-17

昭和56年度 個別 国別 索引
 ファリピン 2
 パキスタン
 ラオス

		計	国際 機関	単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	3人	1人	1人	1人	0人	1人	0人
〃	要請 〃	32	12	8	12	0	0	3
〃	受入 〃	27	12	5	10	0	0	3
〃	受入不能 〃	3	0	3	0	0	0	0
〃	翌年度検討 〃	2	0	0	2	0	0	0
昭和57年度	継続 〃	5	1	0	4	0	0	0

パキスタン

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入不能	区分(特異)	プロジェクト名等	受入期間
811-(2)-003	(特)日本語	柳澤	2	単		80-7-7 ~81-6-30
811-(1)-037	(産)養蚕技術	島渡	2	単		不能
(1)-192-J	(特設)林業開発セミナー	柳澤	1	単		81-8-20 ~81-9-8
(1)-196-F	(特設)警察通信セミナー	石河野	1	単(準)		81-11-19 ~81-12-10
(1)-196-G	-do-	-do-	1	単(準)		不能

		計	国際 機関	単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	2人	0人	2人	0人	0人	0人	0人
〃	要請 〃	5	0	5	0	0	0	2
〃	受入 〃	2	0	2	0	0	0	1
〃	受入不能 〃	3	0	3	0	0	0	1
昭和57年度	継続 〃	0	0	0	0	0	0	0

ラオス

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入不能	区分(特異)	プロジェクト名等	受入期間
811-(1)-003	(特)日本語	上條	2	単		81-4-9 ~82-3-31

		計	国際 機関	単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	要請人数	2人	0人	2人	0人	0人	0人	0人
〃	受入 〃	2	0	2	0	0	0	0
昭和57年度	継続 〃	0	0	0	0	0	0	0

昭和56年度 個別 国別 索引 シンガポール
スリランカ

カードNo.	研修科目	担当	人数 受入 不能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間		
8111-(2)-017	(備) 家畜用生化学藥品	柳澤	1	単		81-1-15 ~81-7-14		
(2)-0508	(高) ASEAN 人造り	立石	1	単(高)	他のASEAN国から 受入しない	81-3-29 ~81-4-4		
8111-(1)-004	(特) 日本語	上條	1	単		81-4-9 ~82-9-30		
(1)-145	(特) 視察(労働性)	河野	2	G-G		81-9-27 ~81-10-3		
(1)-170	(特) 警察組織再編成	立石	5	G-G	(高級相当3名)	81-10-18 ~81-10-28		
(1)-174	(水) 食品加工	甲斐	1	国	SEAFDEC	81-10-26 ~82-2-27		
(1)-200	(警) 警察組織再編成	立石 河野	4	G-G		81-12-18 ~81-12-31		
(1)-196K	(特設) 警察通信機一	-do-	1	単(準)		81-11-19 ~81-12-10		
(1)-205D	(特設) ASEAN 食品加工	立石	1	単		81-10-29 ~81-12-15		
		計	要請	単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	2人	0人	2人	0人	0人	1人	0人
"	要請 "	15	1	3	0	11	(3)	1
"	受入 "	15	1	3	0	11	(3)	1
昭和57年度	継続 "	1	0	1	0	0	0	0

スリランカ

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間		
8111-(1)-024	(水) 漁撈	桜井	1	%	高専水産	81-4-9 ~81-10-8		
(1)-129	(農) 農業保険(増設)	柳澤	5/4	G-G		81-9-17 ~81-10-28		
(1)-176E	(特設) 一般農業	立石	2	単		81-5-14 ~81-10-17		
(1)-176F	-do-	-do-	2	単		不能		
(1)-196L	(特設) 警察通信機一	立石 河野	1	単(準)		81-11-19 ~81-12-10		
		計	要請	単発	%	G-G	高級	準高
昭和56年度	継続人数	0						
"	要請 "	11人	0人	5人	1人	5	0	1人
"	受入 "	9	0	3	1	5	0	1
"	受入不能 "	2	0	2	0	0	0	0
"	果日中止 "	1	0	0	0	1	0	0

昭和56年度 個別 国別 索引 夕イ

カードNo.	研修科目	担当者	人数 人数	区分(国)	プロジェクト名	受入期間
8111-2]-012	畜]機械保守	岩崎	1	%	家畜衛生計画	81-1-8 ~81-7-7
2]-026	畜]免疫の細菌学	-do-	1	%	-do-	81-2-26 ~81-8-25
2]-028	水]沿岸養殖	柳澤	1	%	沿岸養殖	81-2-26 ~81-6-2
2]-029	農]農業機械	外川	1	%	農村産業開発	81-8-5 ~81-8-4
2]-035	農]除草剤分析	岩崎	1	%	雑草研究	81-3-19 ~81-6-18
2]-041A	農]PILJ-IL絶滅	-do-	1	%	カセサト大学	81-3-26 ~81-12-20
2]-041B	農]土壌学	-do-	1	%	-do-	81-3-31 ~81-7-15
2]-042	畜]77和細胞学	-do-	1	%	家畜衛生	81-3-26 ~81-9-25
2]-050E	畜]ASEAN人達)	立石	1	単(高)	ASEAN国 受入2113	81-3-29 ~81-4-4
8111-1]-006	農]殺虫剤化学	甲斐	1	単		82-1-7 ~82-3-31
1]-014A	水]海洋生物学	柳澤	1	国	FAD	81-6-15 ~81-9-22
1]-014B	水]かお漁法	-do-	1	国	-do-	不能
1]-021	農]農業機械	-do-	1	国	-do-	不能
1]-022	農]農業事情視察	外川	1	国	IAEA	81-5-11 ~81-5-15
1]-035B	畜]養蚕合同	-do-	2	%	JK	81-5-5 ~81-11-8
1]-038	農]突然変異育種	-do-	1	国	IAEA	81-8-17 ~81-8-28
1]-039	高]水産事情視察	上條	1	国(高)	SEAFDEC	81-6-15 ~81-6-24
1]-055A	農]農業化学(新法比較)	河野	1	単		81-9-10 ~81-12-9
1]-055B	農]-do-(工業廃棄物 の肥料化)	-do-	1	単		81-9-10 ~81-12-9
1]-055C	農]-do-(品質管理)	-do-	1	単		81-9-10 ~81-12-9
1]-060	高]視察(研修受入業務)	上條	1	単	(DTEC)	81-7-12 ~81-7-26
1]-072-A	水]水産技術(SEAFDEC 訓練生)	甲斐	9	国	SEAFDEC	81-6-9 ~81-7-4
1]-077A	水]資源統計	立石	1	国	-do-	81-10-22 ~81-3-31
1]-077B	水]資源解析	甲斐	1	国	-do-	82-3-25 ~82-7-2
1]-077C	水]船用機関	立石	1	国	-do-	不能(修理)
1]-098E	農]農水産用必農林産	柿崎	1	国	ASPAC/FFTC	81-10-5 ~81-10-10
1]-103	高]経済技術助行政	笠井	1	単(高)	(DTEC)	81-6-7 ~81-6-13
1]-123	高]-do-	-do-	1	単(高)		81-8-19 ~81-8-26
1]-126	水]視察(水産加工)	笠井	1	G-G		81-8-23 ~81-9-5
1]-131-B	畜]視察(合同7713)	甲斐	2	%	1977灌溉	81-11-5 ~81-11-23

昭和56年度 個別 国別 索引 71 2/

カードNo.	研修科目	担当者	人数	区分	プログラム名等	受入期間
8111-01-132	(農)農業機械 <small>(新機械設計用)</small>	岩崎	1	国	FAD	82-1-13 ~82-5-12
01-133	(農)農業機械 <small>(小型)</small>	-do-	1	国	FAD	82-3-4 ~82-7-3
01-137	(林)視察 <small>(造林)</small>	河野	1	% <small>(津)</small>	森林機械造成	81-10-3 ~81-10-17
01-142-A	(灌)視察 <small>(合同タイ)</small>	甲斐	2	%	かんがい農開	81-11-5 ~81-11-31
01-142-B	(灌)視察 <small>(do)</small>	-do-	2	%	×1777灌漑	-do-
01-154	(農)視察 <small>(タイ)</small>	外川	(4)	% <small>(津)</small>	タイ灌漑開発	81-10-11 ~81-10-21
01-158A	(水)養殖 <small>(工飼料)</small>	上條	1	%	沿岸養殖セー	82-3-18 ~82-7-17
01-158B	(水)養殖 <small>(一般)</small>	-do-	1	%	-do-	82-3-18 ~82-7-17
01-159A	(畜)家畜衛生 <small>(病理)</small>	岩崎	1	%	家畜衛生	82-1-15 ~82-7-14
01-159B	(畜)家畜衛生 <small>(血清)</small>	-do-	1	%	-do-	82-1-15 ~82-7-14
01-159C	(畜)家畜衛生 <small>(水)</small>	-do-	2	%	-do-	81-11-26 ~82-5-25
01-159D	(畜)-do- <small>(774品)</small>	-do-	1	%	-do-	82-3-18 ~82-9-17
01-164A	(農)ハチカク発酵	-do-	1	%	カセサト大学	82-3-18 ~83-2-17
01-164B	(園)野菜害虫	-do-	1	%	-do-	81-11-5 ~82-2-9
01-164C	(園)畜種 <small>(野菜)</small>	-do-	1	%	-do-	82-3-18 ~82-7-17
01-165A	(農)視察 <small>(農業機械)</small>	-do-	1	%	-do-	81-10-20 ~81-11-21
01-165-B	(農)視察 <small>(普及)</small>	-do-	1	%	-do-	82-3-4 ~82-4-15
01-166A	(農)雑草の研究	山田	1	%	雑草研究	81-11-26 ~82-5-25
01-166-B	(農)除草剤の残留分析	岩崎	1	%	-do-	81-11-5 ~82-2-4
01-166-C	(農)除草剤の研究	山田	1	%	-do-	82-3-4 ~82-9-3
01-167	(灌)視察 <small>(合同タイ)</small>	甲斐	2	% <small>(津)</small>	かんがい農開	81-10-29 ~81-11-12
01-168	(灌)-do- <small>(合同タイ)</small>	-do-	2	%	かんがい灌漑	81-10-29 ~81-11-17
01-172	(畜)家畜衛生 <small>(水)</small>	岩崎	1	%	家畜衛生	8211-01-008
01-175	(農)稲栽培	河野	1	%	かんがい農開	82-3-4 ~82-12-14
01-185	(農)農協組織育成	岩崎	2	%	農協組織献献	81-11-28 ~81-12-3
01-1920	(特設)林業開発計	柳澤	3	単		81-8-20 ~81-9-8
01-196M	(特設)農業機械計	立石河野	1	単 <small>(津)</small>		81-11-19 ~81-12-10
01-205E	(特設)ASEAN食品加工	立石	3	単		81-10-29 ~81-12-15

昭和56年度 個別 国別 索引 タイ 3
台湾, 香港
ヴェトナム

		計	国 際 関 係	単 発	%	G-G	高 級	準 高
昭和56年度	継続人数	9人	0人	1人	8人	0人	1人	0人
"	要請 "	72	21	14	36	1	3	8
"	受入 "	68	18	14	35	1	3	7
"	受入不能 "	3	3	0	0	0	0	1
"	翌年度検討 "	1	0	0	1	0	0	0
"	来日中止 "	1	0	0	1	0	0	1
昭和57年度	継続 "	17	3	1	13	0	0	0

台湾

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入不能	区 分 (特 選)	プロジェクト名等	受入期間
※ 8111-(1)-098-A	農林水産用工業化 農村工業化	柿崎	3 (特選)	国	ASPAC/FFTC	81-10-5 ~81-10-10
		計	国 際 関 係	-	-	-
昭和56年度	要請人数	3人	3人			
"	受入 "	3人	3人			
昭和57年度	継続 "	0	0			

香港

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入不能	区 分 (特 選)	プロジェクト名等	受入期間		
8111-11-196-0	特設警察通信センター	立石河野	1 (単発)			不能		
		計	国 際 関 係	単 発	%	G-G	高 級	準 高
昭和56年度	要請人数	1人	0人	1人	0人	0人	0人	1人
"	受入不能 "	1	0	1	0	0	0	1

ヴェトナム

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入不能	区 分 (特 選)	プロジェクト名等	受入期間		
8111-12-037	畜家畜栄養	柳澤	1 (国)	国	FAO	81-3-19 ~81-7-18		
		計	国 際 関 係	単 発	%	G-G	高 級	準 高
昭和56年度	継続人数	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
"	要請 "	0	0	0	0	0	0	0
昭和57年度	継続 "	0	0	0	0	0	0	0

昭和56年度 個別 国別 索引 フィジー, ミクロネシア
ソロモン, P.N.G.

カードNo.	研修科目	担当者	人数 数確	区分(特選)	プロジェクト名等	受入期間
811-(1)-176-A	[特設]一般農業	立石	4	単		81-5-14 ~81-10-17
(1)-188	[特設]漁船機器保守整備	山田	1	専	専(門馬)	82-1-13 ~82-7-11
(1)-196-N	[特設]警察通信士	立石, 河野	1	単(準)		不能
		計	単発	専		高級 準高
昭和56年度	要請人数	6	5	1		0 1
"	受入 "	5	4	1		0 0
"	受入不能 "	1	1	0		0 1
昭和57年度	継続 "	1	0	1		0 0

ミクロネシア

カードNo.	研修科目	担当者	人数 数確	区分(特選)	プロジェクト名等	受入期間
811-(2)-023	[特]漁業開発	(横井)上條	1	専	ミクロネシア漁業開発	81-2-23 ~81-12-5
		計	単発	専		高級 準高
昭和56年度	継続人数	1	0	1		0 0
"	要請 "	0	0	0		0 0
昭和57年度	継続 "	0	0	0		0 0

ソロモン

カードNo.	研修科目	担当者	人数 数確	区分(特選)	プロジェクト名等	受入期間
811-(1)-088	[特]自動車部品在庫管理	立石	1	単		不能
		計	単発	専		高級 準高
昭和56年度	要請人数	1	1	0		0 0
"	受入不能 "	1	1	0		0 0

P.N.G. (パプアニューギニア)

カードNo.	研修科目	担当者	人数 数確	区分(特選)	プロジェクト名等	受入期間
(3)-001	[特]日本語	立石	1	単		79-9-13 ~81-9-12
(1)-176-D	[特設]一般農業	-do-	1	単		81-5-14 ~81-10-17
(1)-192-K	[特設]林業開発士	柳澤	1	単		81-8-20 ~81-9-8
		計	単発	専		高級 準高
昭和56年度	継続人数	1	1	0		0 0
"	要請 "	2	2	0		0 0
"	受入 "	2	2	0		0 0
昭和57年度	継続 "	0	0	0		0 0

昭和56年度 個別 国別 索引 [カタール] [セイシエル] [レバノン] [マダガスカル] ユーゴスラヴィア

カタール

カードNo.	研修科目	担当者	人数 数	区分 待遇	プロジェクト名等	受入期間	
8111-01-196-J	(特設)警察通信センター	立石・河野	1	単(準)		81-11-19 ~81-12-10	
		計	単発	C/P		高級	準高
昭和56年度	要請人数	1人	1人	0		0	1
〃	受入〃	1	1	0		0	1

レバノン

カードNo.	研修科目	担当者	人数 数	区分 待遇	プロジェクト名等	受入期間	
8111-01-016	(国)蚕病	柳澤	1	団	FAO	不能(特等)	
		計	単	同障機関		高級	準高
昭和56年度	要請人数	1	0	1		0	0
〃	受入不能〃	1	0	1		0	0

ユーゴスラヴィア

カードNo.	研修科目	担当者	人数 数	区分 待遇	プロジェクト名等	受入期間	
8111-01-093	(水)魚・貝類養殖	(上條)	1	単	翌年度検討	8211-01-006	
01-094	(水)人工孵化 雄魚飼育	-do-	1	単		81-10-29 ~81-12-23	
		計	単発			高級	準高
昭和56年度	要請人数	2人	2			0	0
〃	受入〃	1	1			0	0
〃	翌年度検討〃	1	1			0	0

セイシエル

カードNo.	研修科目	担当者	人数 数	区分 待遇	プロジェクト名等	受入期間	
8111-01-184	(高)灌排事情視察	(笠井)	1	単(高)	翌年度検討	8211-01-015	
		計	単発			高級	準高
昭和56年度	要請人数	1人	1人			1	0
〃	翌年度検討〃	1	1			1	0

マダガスカル

カードNo.	研修科目	担当者	人数 数	区分 待遇	プロジェクト名等	受入期間	
8111-01-138	(特)視察(経済技術協)	上條	1	単(準)		81-9-26 ~81-10-16	
01-151	(畜)畜産一般	立石	2	C/P	北部畜産開発	82-3-18 ~82-6-25	
		計	単発	C/P		高級	準高
昭和56年度	要請人数	3人	1人	2人		0	1
〃	受入〃	3	1	2		0	1
昭和57年度	継続〃	2	0	2		0	0

昭和56年度 個別 国別 索引 エジプト, テュニジア
スーダン
ソマリア

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間
8111-01-153-A	[高]農水産業事情視察	笠井	(3)2	% (高)	対埃農業協力(農)	81-10-18 ~81-10-25
01-153-B	-do-	-do-	1	% (高)	-do- (全函)	-do-
01-209	[特]視察(漁業管轄外)	香藤	1	% (単)	派遣	82-3-3 ~82-3-20
		計	単発	C/P		高級 準高
昭和56年度	要請人数	5	0	5		4 1
"	受入 "	5	0	5		4 1
"	来日中止 "	1	0	1		1 0

スーダン

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間
8111-02-021	[農]農業機械	河野	2	%	派遣	81-2-10 ~81-6-25
		計	単発	C/P		高級 準高
昭和56年度	継続人数	2	0	2		0 0

ソマリア

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間
8111-03-143	[特]保冷車整備	香藤	1	%	漁業振興計画	81-12-3 ~82-5-26
03-144	[特]船舶機関	-do-	1	%	派遣専門家	81-12-3 ~82-5-26
		計	単発	C/P		高級 準高
昭和56年度	要請人数	2	0	2		0 0
"	受入 "	2	0	2		0 0
昭和57年度	継続 "	2	0	2		0 0

チュニジア

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間
8111-04-061	[高]水産事情視察	笠井	1	% (高)	国立漁業セフ-	81-6-20 ~81-7-1
04-095-A	[特]日本語(JOCD)	香藤	(6)5	単	(JOCD)	81-8-20 ~81-9-9
04-095-B	-do-	-do-	2	単	-do-	不能
04-186	[特]沿岸漁業	上條	2	%	国立漁業セフ-	82-1-12 ~82-3-8
04-193-E	[特設]協力隊紹介計	香藤	1	%	JOCD	81-11-2 ~81-11-18
		計	単発	C/P		高級 準高
昭和56年度	要請人数	12	8	4		1 0
"	受入 "	10	6	4		1 0
"	来日中止 "	1	1	0		0 0
"	受入不能 "	2	2	0		0 0

昭和56年度 個別 国別 索引 エテオピア, タンザニア
ケニア, ガンビア
エテオピア

カードNo.	研修科目	担当者	人数 数	区(特選)	プロジェクト名等	受入期間
8111-07-192-D	(特設)林業開発ヒト	柳澤	1	単		81-8-20 ~81-9-8
		計	単発		単発	高級 準高
昭和56年度	要請人数	1	1	受入人数	1	0 0

ケニア

8111-02-013-A	(農)昆虫学	河野	1	%	ケニア7農工大	81-1-8 ~83-3-31
02-013-B	(農)育種学	-do-	1	%	-do-	81-1-8 ~83-3-31
02-013-C	(農)食品分析	-do-	1	%	-do-	81-2-12 ~82-12-27
8111-07-035-C	(畜)養蚕合同	外川	2	%	派遣専門家	81-5-5 ~81-11-8
07-128	(園)果樹園芸	斎藤	1	%	JOCV	82-2-11 ~82-11-30
07-192-F	(特設)林業開発ヒト	柳澤	1	単		81-8-20 ~81-9-8
		計	単発	%		高級 準高
昭和56年度	継続人数	3人	0	3人		0 0
"	要請 "	4	1	3		0 0
"	受入 "	4	1	3		0 0
昭和57年度	継続 "	4	0	4		0 0

タンザニア

8111-02-040	(農)栽培(トモロシ)	斎藤	1	%	キリマンジャロ農開	81-3-26 ~81-11-27
02-055	(集)灌漑排水コース	山田	1	%	-do-	81-3-19 ~81-11-23
8111-03-092	(集)船作機械化コース	河野	1	%	-do-	82-3-4 ~82-12-14
07-131-A	(畜)視察(合同717°)	甲斐	(2)0	%	-do-(来日中止)	(81-11-5 ~81-11-23)
07-177-F	(集)-do-(第2次合同 817°)	山田	2	%	-do-(同一人物)	82-2-18 ~82-3-17
		計	単発	%		高級 準高
昭和56年度	継続人数	2人	0人	2人		0 0
"	要請 "	5人	0	5		0 0
"	受入 "	5	0	5		0 0
"	来日中止 "	2	0	2		0 0
昭和57年度	継続 "	1	0	1		0 0

ガンビア

8111-07-193-C	(特設)協力隊研修ヒト	斎藤	1	%	JOCV	81-11-2 ~81-11-18
昭和56年度	要請人数	単1人	高0	準0	受入人数	単1人 高0 準0

昭和56年度 個別 国別 索引

セネガル, カメルーン
 リベリア, ガボン
 ガーナ, 中央アフリカ
 ユニゴ

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入不能	区分 (待遇)	プロジェクト名等	受入期間
8111-(2)-007	(水) 船外機	上條	1	%	派遣(津守)	80-11-20 ~81-6-30
(2)-031	(水) ディーゼルエンジン	-do-	1	単		81-3-11 ~81-9-17
8111-(1)-152	(水) 船外機保守整備	-do-	1	%	派遣(津守)	81-11-13 ~82-5-25

		計	単発	%	(水)	高級	準高
昭和56年度	継続人数	2人	1人	1人	2人	0	0
"	要請 "	1	0	1	1	0	0
"	受入 "	1	0	1	1	0	0
昭和57年度	継続人数	1	0	1	1	0	0

リベリア

8111-(2)-043	(高) 獣疫実験技術	岩崎	1	単		81-3-26 ~82-3-25
(2)-059	(関) 縮作コース		1	%	派遣専門家	81-3-19 ~81-11-23
昭和56年度	継続人数	計2人	単1	%1	要請人数	0

ガーナ

8111-(1)-193-D	(特設) 協力隊紹介	斎藤	1	%	JOCV	81-11-2 ~81-11-18
昭和56年度	要請人数	%	1人	受入人数	1人	高級0, 準0

カメルーン

8111-(1)-192-P	(特設) 林業開発	柳澤	1	単		不能
昭和56年度	要請人数	単発	1人	受入不能人数	1人	高級0, 準0

ガボン

8111-(1)-042	(高) ガボン農業事情視察	笠井	1	単		81-6-08 ~81-6-21
昭和56年度	要請人数	単発	1人	受入人数	1人	高級1人

中央アフリカ

8111-(1)-052	(高) 警察電話網視察	笠井	1	単(高)		不能(要請取)
昭和56年度	要請人数	単発	1人	受入不能人数	1人	高級1人

コンゴ

8111-(2)-015	(特) 日本語	上條	1	単		81-1-5 ~81-12-22
昭和56年度	継続人数	単発	1人	要請人数	0人	

昭和56年度 個別 国 別索引 ×キシ

カード No.	研修科目	担当者	人数 人数	区分(待遇)	ポジション等	受入期向			
811-[B]-002	[水] 漁業経済	止石	1	日墨		80-3-6 ~81-12-19			
[2]-004	[水] 貝類養殖	柳澤	1	-do-		80-9-4 ~81-6-11			
[2]-005	[水] 養殖(魚、牡蠣)	-do-	3	-do-		80-9-4 ~81-11-6			
[2]-010-A	[語] 日本語	馬渡	1	-do-		81-1-5 ~81-12-22			
[2]-010-B	-do-	-do-	1	-do-	早期研修終了	81-3-29 ~81-11-3			
[2]-014	[水] 水産技術	柳澤	10	-do-		81-1-8 ~81-10-31			
[2]-019	[水] 音波探知	馬渡	2	-do-		81-2-5 ~81-10-7			
[2]-027	[水] 沿岸漁業普及(学校)	-do-	2	-do-		81-2-26 ~81-12-20			
[2]-054	[水] 養殖一般	上條	2	-do-		80-9-4 ~81-6-11			
811-[1]-044	[水] 沿岸漁業普及(学校)	馬渡	2	-do-		82-2-26 ~82-12-20			
[1]-045	[水] 漁 拵	-do-	(1)0 ² 1	-do-	1名不能 1名来日中止	81-11-20 ~82-9-25			
[1]-046	[水] 音波探知	-do-	(4)2 1	-do-	1名不能 2名来日中止	82-2-5 ~82-10-7			
[1]-047	[水] 水産技術	-do-	(8)7 1	-do-	1名不能 1名来日中止	82-1-8 ~82-10-31			
[1]-071	[水] 水産食品加工	-do-	1 ※	単 ※	翌年度案件として 82-3-31に期	821-[1]-001 (82-4) ~82-9-12			
[1]-102A	[高] 視察(家畜衛生)	柳澤	1	% 洋	家畜衛生セ7-	81-11-11 ~81-11-22			
[1]-102B	[高] 家畜衛生(774)	-do-	1	%	-do- 来日中止 翌年度案件	81-12-3 ~82-6-21 次年度 821-[1]-02A			
[1]-102C	[高] 家畜衛生(774)	笠井	1	% 高	-do-	81-11-11 ~81-11-22			
[1]-102D	[高] 家畜衛生(774)	柳澤	1	%	-do-	次年度 821-[1]-011-B			
[1]-109	[水] 養殖一般2-2	上條	3	日墨		81-9-4 ~82-6-16			
[1]-110-A	[水] 養殖(魚、牡蠣)	柳澤	2	-do-		81-9-4 ~82-7-3			
[1]-110-B	[水] 養殖(魚、牡蠣)	-do-	(2)1	-do-	1名来日中止	81-9-4 ~82-7-3			
[1]-111	[水] 工比種苗生産	梶井馬渡	(4)3	-do-	1名来日中止	81-11-5 ~82-9-4			
[1]-117	[農] 大豆白利用	河野	1	単		82-1-10 ~82-12-20			
		計	単発	C/P	日墨	日(20%)	高級	準高	
昭和56年度	継続人数	23	0	0	23	21	2	0	0
"	要請 "	35	2	4	29	29	0	1	1
"	受入 "	29	1	2	26	26	0	1	1
"	来日中止 "	6	0	0	6	6	0	0	0
"	受入不能 "	3	0	0	3	3	0	0	0
"	翌年度検討 "	3	1	2	0	0	0	0	0
"	来日 "	24							
昭和57年度	継続 "	22	1	0	20	20	0	0	0

昭和56年度 個別 国別 索引
 ホンデュラス
 ホンデュラス
 エスタリカ
 ドミニカ

カードNo.	研修科目	担当者	人数	区分	プロジェクト名	受入期間
8111-2]-030	(特)職業教育事情	桜井	1	単		81-3-11 ~81-4-10
8111-1]-066	(林)事情視察	甲斐	2	各(準)	林業資源開発	81-7-30 ~81-8-16
1]-067	(高)林業事情視察	笠井	1	単(高)		81-8-2 ~81-8-14
		計	単発	C/P		高級 準高
昭和56年度	継続人数	1人	1	0		0 0
"	要請 "	3	1	2		1 2
"	受入 "	3	1	2		1 2
昭和57年度	継続 "	0	0	0		0 0

コスタリカ

カードNo.	研修科目	担当者	人数	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間
8111-2]-053	(高)研究システム	柿崎	1	単高		81-3-26 ~81-4-11
8111-1]-210	(水)養殖(貝類)	馬渡	1	単		次年度 8211-01-002
		計	単発			高級 準高
昭和56年度	継続人数	1人	1人			1 0
"	要請 "	1	1			0 0
"	受入 "	0	0			0 0
"	翌年度検討 "	1	1			0 0
昭和57年度	継続 "	0	0			0 0

ドミニカ

カードNo.	研修科目	担当者	人数	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間
8111-1]-135	(海)視察(水産)	馬渡	(3)2	単準	アグリ本業開	81-11-5 ~81-11-23
1]-161B	(海)視察(水産)	-do-	(2)1	各	-do-	82-2-18 ~82-3-17
		計	単発	C/P		高級 準高
昭和56年度	要請人数	5人	2	3		0 3
"	受入 "	5	2	3		0 3
"	来日中止 "	2	1	1		0 1
昭和57年度	継続 "	0	0	0		0 0

昭和56年度 個別 国別 索引 エフアドル
ベルー

ヴェネズエラ

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受 入 不 能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間
8111-01-009	(水)海産物タンパク資源	立石	1	単		81-7-23 ~81-9-30
昭和56年度	要請人数	単発	1人	受入	人数 1人	高級0 準0
エフアドル						
8111-517-002-A	(水)漁船機用	斎藤	1	単		81-7-23 ~81-12-19
[1]-002-B	(水)漁操・漁労	斎藤	2	単		81-7-23 ~81-12-19
[1]-002-C	(水)漁船	立石	1	単		不能
[1]-029-A	(灌)視察(地型図)	立石	(2)1	% (準)	コスト地型 農業開発計画	81-5-24 ~81-6-6
[1]-029-B	(灌)視察(地型図)	立石	1	% (準)	-do-	要請取付IT
[1]-089	(灌)視察(地型図引取)	河野	1	% (準)	コスト地型 農業開発計画	81-8-11 ~81-8-22
[1]-134	(高)エフアドル農業事情視察	笠井	1	% (高)	コスト地型農用	不能
[1]-161-A	(水)視察(合所中継)	河野	4	%	-do-	82-2-18 ~82-3-17
昭和56年度	要請人数	計 13人	単発 4人	% 9人		高級 1人 準 4人
"	受入 "	10	3	7		0 3
"	来日中止 "	1	0	1		0 1
"	受入不能 "	3	1	2		1 1
ペルー						
8111-[2]-032-A	(水)鑑誌	上條	1	%	水産加工セミナー	81-3-19 ~81-11-18
[2]-032-B	(水)水産加工	上條	2	%	-do-	81-3-19 ~81-11-18
8111-[1]-007	(畜)七才鑑別	岩崎	1	単	(注)1名継続 81-2-26付)	81-4-15 ~82-4-26
[1]-013	(水)魚類病理	桜井上條	1	単		81-5-15 ~81-12-17
[1]-108	(高)野菜流通改善	笠井	(2)1	% (高)	野菜流通改善	81-8-25 ~81-9-7
[1]-148	(水)視察(水産加工)	上條	2	% (準)	水産加工セミナー	81-10-7 ~81-10-23
[1]-155-A	(水)冷凍食品加工	-do-	1	%	-do-	82-1-20 ~82-7-31
[1]-155-B	(水)水産加工機械	-do-	1	%	-do-	次年受入 8211-[1]-009
[1]-192-L	(特設)林業開発セミナー	柳澤	1	単		81-8-20 ~81-9-8
[1]-192-M	-do-	-do-	1	単		不能
[1]-193-A	(特設)協力隊紹介セミナー	斎藤	1	%	JOCV	81-11-2 ~81-11-18
昭和56年度	継続人数	計4人 単3人 高0人 準0人	要請人数	計11人 単4人 % 7人 高2人 準2人		
"	受入 "	計9人 単3人 % 6人 高2人 準2人	来日中止人数	% 1人 高1人		
"	受入不能 "	計1人 単1人 高0人	昭和57年度継続人数	計3人 単2人 % 1人		
"	翌年度検討 "	計1人 % 1人				

昭和56年度 個別 国 別 索引 ブラジル

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入 不能	区分	プロジェクト名	受入期間
8111-(2)-001	[水]水産養殖(工比)	上條	1	単		80-5-1 ~81-9-30
-(2)-033	[産]視察(農業事情)	岩崎	1	% 準	リバイブ河農圃	81-3-19 ~81-4-7
-(2)-034	[畜]解剖獣医学	-do-	1	単		81-3-19 ~81-7-5
-(2)-039	[農]植物病理	-do-	1	単		81-3-23 ~81-6-22
-(2)-046A	[農]昆虫	外川	1	%	農業研究	81-3-26 ~81-6-16
-(2)-046B	[農]事情視察	-do-	1	% 準	-do-	81-3-28 ~81-6-16
-(2)-046C	[高]農業事情視察	笠井	1	% 高	-do-	81-3-28 ~81-4-6
8111-(1)-008	[農]稲作	岩崎	1	単		81-6-18 ~81-9-5
(1)-010	[水]水産研究	齊藤	1	単		81-11-26 ~82-10-20
(1)-012	[特]技術協力事情	外川	1	単		81-4-19 ~81-4-29
(1)-025	[園]温帯果樹栽培	上條	1	% (準)	派遣	81-9-1 ~81-10-4
(1)-034A	[林]ワトセシツ	甲斐	1	%	カンパコ林研	81-8-20 ~81-12-19
(1)-034B	[林]小径木利用	-do-	0/0 来日 中止	%	-do-	81-8-20 来日 ~81-10-19 中止
(1)-034C	[林]流域管理	-do-	1	%	-do-	8211-(1)-003 ~81-9-19
(1)-034D	[林]ワトセシツ	-do-	1	%	-do-	81-8-20 ~81-10-4
(1)-040	[畜]家畜原虫病	岩崎	0/0 来日 中止	単		(81-8-20) 来日 ~81-12-19) 中止
(1)-043	[高]農業事情視察	笠井	1	% 高	農業研究	81-5-25 ~81-6-7
(1)-056	[農]食品加工(果汁)	馬渡	2	単		81-10-28 ~81-12-15
(1)-057	[畜]馬伝染性貧血病	-do-	1	単		81-9-1 ~81-11-30
(1)-058	[農]視察(研究制度)	-do-	1	% 準	移住	81-8-24 ~81-9-11
(1)-096A	[農]土壤管理	外川 駿	1	%	農業研究	81-7-30 ~82-1-29
(1)-096B	[農]害虫防除	甲斐	1	%	-do-	2211~ 8211-(1)-007A
(1)-096C	[農]土壤微生物	-do-	1	%	-do-	8211-(1)-007B
(1)-096D	[農]視察(土壤)	外川	2	%	-do-	81-10-1 ~81-10-31
(1)-096E	[農]大豆育種改良	-do-	1	%	-do-	81-7-30 ~81-10-29
(1)-114	[林]林業研究	柳澤	1	単		不能
(1)-118A	[産]視察(流域管理)	岩崎	3	% ^{12名}	リバイブ河農圃	81-11-5 ~81-11-25
(1)-118B	[産]視察(流域管理)	-do-	1	%	-do-	不能
(1)-160	[園]植物病理(りん)	馬渡	1	%	派遣	81-11-8 ~82-9-27
(1)-192-B	[特設]林業開発計画	柳澤	3	単		81-8-20 ~81-9-8
(1)-207	[林]機械化伐出	甲斐	1	%	カンパコ林研	82-2-25 ~82-5-24

昭和 年度 個別 国 別 索引
ブラジル 2.

ブラジル 2
ボリヴィア
パラグアイ

		計	単発	%		高級	準高
昭和56年度	継続	7人	3人	4人		1人	2人
"	要請	30人	11	19		1	3
"	受入	25	10	15		1	3
"	来日中止	2	1	1		0	0
"	受入不能	2	1	1		0	0
昭和56年度	翌年度検討人数	3	0	3		0	0
昭和57年度	継続人数	3	1	2		0	0

ボリヴィア

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入不能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間
8111-01-211	高]経済技術協政	笠井	1	単(高)		81-4-20 ~81-5-2
昭和56年度	要請人数	単 1人	高 1人 準 0人	受入	人数 単 1人	高 1人 準 0人

パラグアイ

カードNo.	研修科目	担当者	人数 受入不能	区分(待遇)	プロジェクト名等	受入期間	
8111-02-006	林]造林	馬渡	1	%	林業開発	80-9-11 ~81-9-10	
02-009A	農]小麦加工機械	-do-	2	%	農業開発	80-11-26 ~81-11-25	
02-009B	農]農業機械	岩崎	1	%	-do-	80-11-26 ~81-11-25	
02-025	高]ヒナ鑑別	-do-	1	単		81-2-25 ~82-2-24	
8111-03-053	農]植物病理	甲斐	1	単		81-9-10 ~83-9-28	
03-054	農]養蜂	-do-	1	単		81-9-26 ~82-10-7	
03-107	農]農業機械	馬渡	3	%	農業開発	81-9-10 ~82-7-9	
03-121	農]視察(試験場)	-do-	1	% (準)	-do-	81-10-04 ~81-10-30	
03-162-A	林]事情視察	-do-	1	% (準)	林業開発	82-1-21 ~82-2-9	
03-162-B	林]木材加工	-do-	1	%	-do-	81-11-26 ~82-11-29	
03-171	畜]家畜人工授精	山田	1	%	派	82-1-13 ~82-7-13	
03-179	高]杓住事業	笠井	1	% (高)	杓住事業部	81-11-16 ~81-11-25	
03-199	高] -do-	-do-	1	% (高)	-do-	82-3-17 ~82-3-30	
		計	単発	%		高級	準高
昭和56年度	継続人数	4人	1人	4人		0人	0人
"	要請	11	2	9		2	2
"	受入	11	2	9		2	2
昭和57年度	継続	7	2	5		0	0

昭和56年度 個別 国別 索引 ウルグアイ
アルゼンティン
4)

カード No.	研修科目	担当者	人数 数能	区分(待遇)	プロジェクト名	受入期間	
8111-(2)-024-A	(園)種バインの病理	馬渡	1	%	野菜研究	81-2-23 ~81-11-30	
(2)-024-B	(園)野菜育種	-do-	1	%	-do-	81-2-26 ~81-11-25	
(2)-051	(園)野菜生産	-do-	1	%	-do-	80-9-19 ~81-9-18	
8111-(1)-119	(園)植物病理(野菜)	-do-	1	%	-do-	81-9-15 ~81-12-14	
(1)-150	(園)視察(野菜研究)	-do-	1	% ^(準)	-do-	81-10-27 ~81-11-17	
		計	単発	%	(園芸)	高級	準高
昭和56年度	継続人数	3人	0人	3人	3	0	0
"	要請	2	0	2	2	0	1
"	受入	2	0	2	2	0	1

アルゼンティン

カード No.	研修科目	担当者	人数 数能	区分(待遇)	派遣 派遣	受入期間			
8111-(1)-032	(農)視察(大豆育種)	馬渡	2	% ^(準)	派遣	81-9-5 ~81-9-25			
(1)-059	(農)大豆育種	馬渡	1	%	派遣	81-7-16 ~82-7-15			
(1)-079-B	(林)資源評価及び計量	柳沢	1	単		不能			
(1)-079-A	(林)林業研究(木材加工)	柳沢	0	単		81-8-20 曜日 ~81-9-14 中止			
(1)-197	(水)視察(漁業訓練)	斎藤	2	% ^(準)	漁業訓練	82-1-31 ~82-2-20			
		計	単発	%	[農] [林] [水]	高級	準高		
昭和56年度	要請人数	7人	3人	4人	3人	2人	2人	0	4
"	受入	6	2	4	3	1	2	0	4
"	来日中止	1	1	0	0	1	0	0	0
"	受入不能	1	1	0	0	1	0	0	0
昭和57年度	継続	1	0	1	1	0	0	0	0

4)

カード No.	研修科目	担当者	人数 数能	区分(待遇)	水産養殖	受入期間	
8111-(1)-130-A	(水)竹増殖	上條	1	%	水産養殖	8211-03-010	
(1)-130-B	(水)魚類飼料	-do-	1	%	-do-	81-11-9 ~82-5-8	
(1)-163-A	(水)漁撈	-do-	1	%	派遣	82-2-25 ~82-4-30	
(1)-163-B	(水)-do-	-do-	1	%	-do-	不能(要請)	
		計	単発	%	(水)	高級	準高
昭和56年度	要請人数	4人	0人	4人	4人	0	0
"	受入	2	0	2	2	0	0
"	受入不能	1	0	1	1	0	0
"	翌年度検討	1	0	1	1	0	0
昭和57年度	継続	2	0	2	2	0	0

国際機関別

昭和56年度 個別 国際機関別 索引

FAO UNIDO
IAEA ADP
SEAMEO ASPAC/FFTC

国際機関名	研修科目	国名	人数	担当	ナ-トNo.	受入期間
FAO	(畜)動物用薬品検査	インドネシア	2	柳澤	8111(2)-016	81-1-15 ~81-7-14
	(畜)家畜栄養	タイ	1	-do-	(2)-037	81-3-19 ~81-7-18
	(水)海洋生物学	タイ	1	-do-	(1)-014A	81-6-15 ~81-9-22
	(水)かつお漁法	-do-	1	-do-	(1)-014B	不能(船)
	(林)木材加工	中国	4	-do-	(1)-015	-do-(1)
	(畜)蚕病	バングラ	1	-do-	(1)-016	-do-(1)
	(林)林業機械化	韓国	2	-do-	(1)-017	81-4-2 ~81-6-25
	(園)果樹栽培	インドネシア	1	-do-	(1)-018	81-4-5 ~81-5-2
	(林)林産加工	インド	1	-do-	(1)-019	81-5-22 ~81-8-29
	(水)水産技術	-do-	1	-do-	(1)-020	不能(船)
	(農)農業機械	タイ	1	-do-	(1)-021	-do-(1)
	(農)農業機械(設計)	-do-	1	岩崎	(1)-132	82-1-13 ~82-5-12
	(農)農業機械(小型)	-do-	1	-do-	(1)-133	82-3-4 ~82-7-3
	(林)視察(林業試験場)	韓国	2	-do-	(1)-136	81-11-25 ~81-12-8
IAEA	(農)農業事情視察	タイ	1	外川	(1)-022	81-5-11 ~81-5-15
	(農)突然変異育種	-do-	1	-do-	(1)-038	81-8-17 ~81-8-28
SEAMEO	(農)PILCO-ル発酵	スリランカ	1	外川 甲斐	(1)-048	81-9-1 ~82-2-28
UNIDO	(農)食品加工	インドネシア	1	立石	(1)-124	不能(船)
ADP	(農)米辣油抽出	ビルマ	1	河野	(1)-087	81-9-24 ~81-11-19
ASPAC/FFTC	(農)農水産用必用工業	台湾, 韓国, 日本, フィリピン	9	柿崎	(1)-098	81-10-5 ~81-10-10

昭和56年度 個別研修員受入実績総表(研修分野別)

研修分野	継続人数	要請人数	受入人数	不能回数	翌年度検討人数	来日中止人数
[農] 計	28	143	123	10	10	4
(1) 視察	(2)	(37)	(35)	(1)	(1)	(2)
(2) 作物育種	(11)	(33)	(29)	(3)	(1)	(0)
(3) 農芸化学	(10)	(32)	(27)	(3)	(2)	(0)
(4) 農業機械	(5)	(20)	(12)	(3)	(5)	(0)
(5) その他	(0)	(21)	(20)	(0)	(1)	(2)
[園]	6	20	19	1	0	0
[畜] 計	14	26	23	0	3	1
(1) 畜産一般	(5)	(9)	(9)	(0)	(0)	(0)
(2) 家畜衛生	(7)	(15)	(12)	(0)	(3)	(1)
(3) その他	(2)	(2)	(2)	(0)	(0)	(0)
[灌]	3	63	57	4	2	7
[蚕]	1	13	10	3	0	0
[林] 計	8	76	66	9	1	2
(1) 林業研究	(0)	(37)	(31)	(5)	(1)	(2)
(2) 林業一般	(8)	(39)	(35)	(4)	(0)	(0)
[水] 計	31	113	97	10	6	6
(1) 水産一般	(11)	(42)	(39)	(3)	(0)	(1)
(2) 水産養殖	(9)	(33)	(28)	(1)	(4)	(2)
(3) 水産加工	(4)	(13)	(11)	(0)	(2)	(0)
(4) 船舶機関	(2)	(6)	(5)	(1)	(0)	(0)
(5) 海洋機器	(2)	(6)	(5)	(1)	(0)	(2)
(6) 漁具・漁法	(3)	(13)	(9)	(4)	(0)	(1)
小計	91	454	395	37	22	20

